

【事業案内・報告】

【事業案内】

◆点字勉強会のお知らせ

触って楽しむ点字触読勉強会。

あのポツポツを指で読んでみませんか？

音声化が進み、今から点字を覚えなくても暮らしていけると思っている人もいます。

エレベーターに乗った時、点字階数表記が分からず、どのボタンを押したら良いか迷ったことはありませんか？また外出先のトイレで、流すボタンがわからず困ったことはありませんか？

この点字勉強会では、日常生活で「これだけは覚えておきたい」という点字を触読できるようなプログラムを用意しました。

もちろん本格的に点字を習得し、点字で読書したい人には、点字の基礎から丁寧に講習します。

みんなで和気あいあい点字の勉強をしましょう。

皆様の参加をお待ちしております。

開催日：原則 毎月第2水曜日

10月9日(水)・11月13日(水)・12月11日(水)

時間:いずれも13時から15時まで

会場:県心身障害者総合福祉センター 3階 A会議室

講師:広報製作グループしらゆり（日赤点訳奉仕団）

受講料:無料

問い合わせ・申込は、秋視協 事務局までお願いします。

※参加希望の方は開催日前日までに連絡をお願いします。当日の飛び込み参加も大歓迎です。

※身の回りで触読したい点字がある方は遠慮なくお知らせください。

◆三療講習会の開催のお知らせ

以下の日程で講習会を開催します。

参加を希望される場合は、本協会までご連絡ください。なお、弁当を注文される場合は、一緒に申し出をお願いします。締切は、10月21日（月）とします。

Ⅰ 日時 令和6年10月27日（日）

午前の部 10時から12時 講義

昼食・休憩 12時から13時

午後の部 13時から15時 実技

2 講師 筑波大学人間系 助教 工藤 滋 氏

3 テーマ 「頸肩腕痛の診察と治療」

4 参加費 無料

5 弁当代 700円

当日、受付の際に支払いをお願いします。

◆グランドゴルフ教室開催のご案内

爽やかな秋空の下、グランドゴルフをして、体を動かしてみませんか？

以下の日程で開催します。

期日 10月13日

時間 10時から16時まで

場所 秋田県健康増進センター（ユフォーレ）

参加費 4,500円（入浴・食事・送迎など）

日程

10時に秋田駅東口のNHK前に集合

10時10分出発

10時45分頃 ユフォーレ到着

10時55分からグランドゴルフ開始

12時45分頃からバーベキュー会場に移動

12時55分から昼食、入浴、休憩など

15時30分 ユフォーレ出発

16時頃 秋田駅東口に到着して解散

申し込み締切 10月7日(月)まで

申し込み先 事務局までお願いします。

電話 018-864-2783

◆生活環境部からのお知らせ

盲導犬理解のための説明と体験歩行

今年も文化祭と一緒に開催する事になりました。

期日 10月6日(日)

会場 秋田県社会福祉会館10階大会議室

時間 13時30分から15時

13時30分 (一社)秋田県視覚障害者福祉協会会長挨拶

13時35分 盲導犬の説明 公益財団法人北海道盲導犬協会指導員

13時50分 盲導犬と一緒に体験歩行

14時40分 体験者の感想発表

15時 閉会

◆秋視協わくわく文化祭のお知らせ

期日：10月6日(日)

会場；秋田県社会福社会館 10階大会議室

文芸作品の優秀作品の発表と講評など

問い合わせは事務局までお願いします。

電話 018-864-2783

【事業報告】

◆モルック体験会

公園などの芝生の上などで楽しむモルックですが、天候が悪くても実施できるように、県心身障害者総合福祉センター2階体育館で体験会を開催しました。

初めに講師の先生から道具の説明をしていただき、そのあと体験をしました。

ウォーミングアップの後、4対4のチーム戦でゲーム体験をしました。

そのあとは2対2のチーム戦をして、モルックを満喫しました。

参加者からは、「難しい」とか「次は外でやってみたい」などの感想がきかれました。

講師を務めていただいた先生には丁寧に教えていただき、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

日時：9月15日（日）13時から15時まで

場所：県心身障害者総合福祉センター2階体育館

講師：チャレンジドスポーツ

参加者：4名

飛び入り参加者：4名

これを機に、皆さんもモルックを楽しんで見ませんか。

◆納涼交流会（ビアガーデン体験会）

お天気が心配でしたが、半袖シャツがちょうどよい気温で、久しぶりのビアガーデンを楽しみました。

会場は、かがり火がたかれ、夏歌BGM、開放的な空間でした。

初めて会う方もおりましたが、皆さん和やかに情報交換をしていました。

飲み物はセルフサービスでした。冷蔵されたグラスを棚から取り出し、サーバーから自分で注いだり、氷やリキッド、フレーバーを好きなだけ入れてオリジナルドリンクを作ったりも出来ました。

この度の体験会に合わせて、秋田キャッスルホテルのスタッフが読み

やすいメニュー表を作成してくださいました。

料理のメニューだけでなく、ドリンクのメニュー、配置図も作成していただききました。

また、料理の取り分けもお手伝いいただきました。

秋田キャッスルホテルの皆様にご心より感謝申し上げます。

期日：9月14日（土）

時間：17時30分から19時30分まで

場所：秋田キャッスルホテル4階屋上

日程：17時30分から21時

参加者：7名

◆サウンドテーブルテニス（STT）レベルアップ講習会に参加して

（参加会員の感想）

9月8日（日）10時から15時まで、サウンドテーブルテニスレベルアップ講習会が秋田県心身障害者総合福祉センター2階体育館で開催されました。天気は秋晴れで残暑厳しい一日でした。しかし体育館の中は、暑さを感じさせない快適な環境で講習会を受けることができました。

受講者は14名で、皆さん熱意が感じられ、真剣に取り組んでいまし

た。

講師は日本視覚障害者卓球連盟B級公認審判員です。

午前中は座学で、ルール一つ一つを丁寧に説明していただき、大変わかりやすかったです。途中何度でも手を上げて質問ができ、更に詳しく教えていただき、間違っ覚えてきた事があることに気づき、疑問が解消されスッキリとした様子がうかがえました。サウンドテーブルテニスの競技は、打球音の僅かな違いを聞き分けて判断しなければならないため、審判員の日々の努力は計り知れないものだと感じました。

午後は実践で、参加者全員のフォームや打球音を確認していただき、その際に審判員の熱い眼差しを感じながらラケットを振りました。私は音が明確に出ないと指摘され、ラケットの打ち方を指導していただき、今後に繋げていきたいと思いました。

最後に講師から、スタイルは個人差があり、打ち方や姿勢など直す事も必要だが、それが全てではなく、まず1番大切なのは楽しくやっているかということ。

長く継続してやるためには、勝ち負けよりも重要だと教えられました。

ルールを正しく知り、プレーを楽しむ、スキルアップに繋がった一日でした。

最後にこの講習会実施にあたり、携わった関係者に心から深く感謝

申し上げます。ありがとうございました。

追伸：STTクラブでは初心者大歓迎です。クラブ会員一同お待ちしております。

◆ブラインドテニスレベルアップ講習会

今回は全国的にも主流になってきている国際大会で採用されているコートで、国際大会ルールの確認もしつつ、楽しく講習を受けることが出来ました。

B1クラス（全盲）はコートの奥行きが短くなり、ネットが3センチ上がりました。B2・B3クラス（弱視）はコートの幅が硬式テニスと同じサイズになり、奥行きも長くなりました。

ラケットも少し大きくなりました。

掛け声も英語になりました。

戸惑いながらも、次第に慣れて、楽しそうにプレイしている姿が見られました。

アットホームな雰囲気の中、笑顔が絶えない時間を過ごしました。

日時：令和6年9月1日（日）10時から15時まで

場所：県心身障害者総合福祉センター2階体育館

日程：

開会式 10時から

午前の部 10時15分から

昼休憩 12時から

午後の部 12時45分から

閉会式 14時45分から

講師：日本女子テニス連盟秋田県支部支部

参加者

視覚障害者 6名、子供 2名、

講師 3名、ボランティア 1名

◆委託事業～美術品の鑑賞とマンドリン演奏の鑑賞～の報告

午前中のマンドリンコンサートは美術館内にあるホールで開催され、アットホームな雰囲気の中、柔らかなマンドリンとギターの音色が素敵なコンサートでした。

出演者の衣装もリゾート風で、こちらもリゾート気分でリラックス出来ました。

コンサートの後、近代美術館の音楽鑑賞したホールに展示してあった、かばの彫刻を触りました。ベンチのような雰囲気で金属をたたいて製作した作品だそうです。

そのあとは、宮沢賢治の胸像を触りました。写真では感じ取れない顔の輪郭や皺まで確認できました。

午前中、最後に触った、天狗の鼻という作品が一番印象的でした。箱から右手の人差し指を手のひらを上にした角度に入れて反対側から出しているような作品で、細部まで興味を持って触らないと右手の人差し指だとはわからなかったと思います。

次に参加してくださった方の感想を掲載します。

午後からは2枚の絵画が紹介されました。奥入瀬溪谷を描いたものと最上川を描いた横に長い絵です。

私は同行してもらっていたヘルパーさんから描かれている川の流りに沿うように少しずつ移動しながら描かれている人物や風景を説明してもらいました。一生懸命説明してくれるのですが、私は全体の様子がよくわからず質問することさえできませんでした。

それでも美術館の担当者の方が裸で日に焼けた子供たちが水遊びをしているところの説明で「橋げたが周囲の風景よりも強調されて描かれている、これは子供たちの心の内を表現しているのではないのでしょうか。皆さんとお話ししながら絵を見ていると何度も見ているこの絵

の見え方が変わってくるような気がします」などの説明があり、自分が子供のころの夏休みを思い出してしまいました。

最後に日本画で使われる岩絵具と洋画の油絵具が塗られた用紙を触らせてもらいましたが、細かく砕かれた岩絵の具がざらざらでまるで紙やすりに触れているようで印象的でした。

以下概要です。

期日 令和6年8月18日(日)

会場 ふるさと村・近代美術館(横手市)

日程 10時50分 ふるさと村玄関前集合、

11時 マンドリン演奏の鑑賞、美術品の鑑賞

12時15分 昼食

13時 美術品の鑑賞

14時10分頃 解散

参加者

視覚障害者 4名、介助者 2名

◆委託事業～花火伝承館と農業科学館の見学～の報告

7月21日(日)、大仙市にある花火伝承館と農業科学館に、参加者9

名で行ってきました。

午前中は農業科学館で、昔からの農業のあゆみを、パネルや実物の展示物を触り学びました。

昼食ののち、午後からは花火伝承館を見学しました。伝承館では職員から、花火の歴史や打ち上がるまでの様子などを教えていただきました。

また過去の花火大会の映像をシアターで鑑賞して、花火の素晴らしさを学びました。そこでも模型などを触らせていただき、貴重な体験になりました。

暑い中、ご参加いただいたみなさま、そして、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

◆治療奉仕実施結果報告について

日時 令和6年6月30日(日)

午前10時から午後0時30分

会場 大館市矢立ハイツ

施術師 5名、付き添い 1名

被施術者 23名

感想

今回も皆さんの協力をいただき無事行うことが出来ました。

肩・腰に既往のある方が多く、生活での不便な時などの相談もあり、心身のケアが出来たと思います。

皆さんから、軽快感を得られた声が多く聞かれ好評でした。今後も、継続していきたいと思います。

◆「なまはげ体験と雲昌寺紫陽花見学会」の感想

委託事業「なまはげ体験と雲昌寺紫陽花見学会」が6月23日(日)に行われ、20名が参加しました。

私は強度の弱視で、視障協のこのような会には初めての参加でしたのでとても不安でしたが、会員やボランティアの方々の手厚いサポートのおかげで、満喫することができました。

内容も、なまはげのビックリ、ど迫力のうなり声や男鹿のおいしい海鮮など、見えなくてもとても楽しめました。紫陽花もやさしくふれて、感じることができました。

また秋田の魅力を通してみなさんと交流を深めたいと思っていますので、よろしくお願いします。

◆生活環境部からの報告

キャッスルホテルから弱視者のためのバリアフリー調査の依頼があり、行ってきました。

実施日 令和6年5月25日

時間 14時から16時

参加者 3名

内容 視覚に障害のある人(見えない人見えにくい人)のバリアフリー調査

はじめにホテルの人たちから弱視の人たちはどのように物が見えているのか、どんなふうに認識をして行動しているのか質問があり、参加者がそれぞれの立場で見え方についてお話しし意見交換を行いました。

その後ホテルの看板、表示版の点検、階段やエレベーター、トイレ、客室を見学。

最後に1階ロビーのレストランのメニューの文字やレイアウトについて、様々な角度から意見交換をしました。

私たちと意見交換した事をホテルで参考にして、様々な方々に喜ばれるサービスの提供の参考にして行きたいと回答していただきました。

会長就任にあたって

令和6年6月16日

照井 忠

6月の中旬とはいえ、蒸し暑さが感じられる日、当協会定時総会が行われました。

本総会では役員任期が満了にあたっており、役員改選選挙が実施されました。

そこで、私が再びの会長職を担うようにとの多数の会員の皆さんよりご指示をいただきまして、再び職を預かることとなりました。

2期目ではありますが、いまだに微力なものですので、会員の皆様始め、多数のご協力をお願いしたいと思います。

昨今の協会におきましては、会員の減少の中、どのような充実できる内容の活動を進められるかや、協会の活動を多方面に広げて多くの方のご関心とご理解などをいただかれる活動が課題ではないかと考えられます。

そのような活動を進めていくためには、会長は中心となることですが、協会の理事の方や会員の皆様の大きなご協力があってこそのことと

思います。

今後の協会活動につきましては、皆様よりの大きなお力添えなどのご協力を切にお願いいたします。また、会合ではもちろんですが、それ以外の時でもいろいろなご意見やご発想など、お気軽にお声がけいただきますようお願い申し上げます。就任にあたってのあいさつとさせていただきます。

令和6年度定時総会より

(一社)秋田県視覚障害者福祉協会令和6年度定時総会が6月16日(日)、県心身障害者総合福祉センターで開催され、高橋信夫議長のもと、令和5年度事業報告・決算報告・公益目的支出計画実施報告などの執行部提出議案のすべてが原案通り承認されました。

また、役員改選が行われ、理事8名、監事2名が選出されました。その後の臨時理事会において、照井忠が会長に選任され、また、副会長及び常任理事の選任も行われました。

新役員が選任されましたので以下にご紹介します。

任期は2年間です。

<理事の各部担当と役割について>

会長：照井 忠

副会長：高橋 順子（第1副会長・事務局・総務部担当）

副会長：柏木 晴幸（厚生部・青年部担当）

常任理事：塚田 利人（生活環境部担当）

常任理事：河嶋 真（財務部・職業部・日視連弱視部会担当）

理事：小松 由佳（広報部・女性部担当）

理事：須藤 和彦（総務部担当）

理事：高橋 一彦（保健文化部担当）

監事：荒川 和夫

監事：武田 利美

顧問には北林康司氏が推薦され、承認されました。